

第 3 1 0 号

# 宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号  
宮城県商工振興センター内  
宮城県商工会連合会  
TEL. 022(225)8751  
FAX. 022(265)8009  
URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/  
発行者 佐藤 浩  
印刷所 株式会社高橋プリント



綴じ込んで保管しましょう

## 「第13回日本一はっどフェスティバル」

登米市内外各地から、「ホッと」する「はっど料理」が登米市に勢ぞろいします。

定番の「油麩入りはっど」や「あすきはっど」をはじめ、カレーや中華、海鮮など、この会場でしか食べられない多彩な「はっど」が出そろいます。

会場には近隣地域の郷土料理が味わえるコーナーが設けられるほか、姉妹都市である富山県入善町のマスコットキャラクター「ジャンボ〜ル3世」も友情出演し会場を盛り上げます。是非、会場にお越しください。

開催日時 / 平成28年12月4日(日)

開催時間 / 午前10時から午後2時まで

会場 / 登米市迫中江中央公園(登米市役所迫庁舎前)

内容 / (1)「はっど料理PRコーナー」

登米市の郷土料理「はっど」のPR販売。広域連携コーナーと併せて30種類以上の「はっど」を楽しむことができます。

(2)「地場産品販売コーナー」

登米市の様々な地場産品が出店されます。

(3)広域連携コーナー

大崎市、南三陸町、山形県最上町、岩手県一関市、岩手県奥州市などの郷土料理が出店されます。

(4)観光情報コーナー

登米地域の観光パンフレットの配布及びポスター等の掲示

(5)ステージイベント

はっど踊り、よさこい、ライブステージ、ゆるキャライベント等

問合せ先 「日本一はっどフェスティバル実行委員会」

事務局：登米市産業経済部商業観光課 電話 0220-34-2734

## C O N T E N T S

- 商工会長セミナー・商工会長会議 ----- (2)
- 文化の日表彰 ----- (2)
- 商工会あいち・みやぎ交流物産展開催 ----- (3)
- 若者・女性経営者等研修事業 ----- (3)
- 小規模事業者持続化補助金活用レポート⑦ ----- (4)
- ものづくり補助金認定企業紹介(台湾喫茶 慢瑤茶) -- (5)
- 「平成28年度第2次補正予算」が成立 ----- (5)
- 地方創生への取り組みを開始!(柴田町商工会) ----- (6)
- 「食」おらほの一番グランプリ(本吉唐桑商工会) ----- (6)
- 商工会会員福祉共済制度拡充のお知らせ ----- (7)
- 青年部コーナー ----- (8)
- 女性部コーナー ----- (8)

# 小規模企業支援関連施策・予算と

## 今後の商工会活動

### ～商工会長セミナー・商工会長会議～

商工会長セミナー・商工会長会議が、十月六日、三十三名の商工会長等が参加のもと、仙台サンプラザにて開催された。

「言制度」について、全国健康保険協会宮城支部高橋祥允支部長から説明が行われ、事業への理解と協力の要請が行われた。

その後、全国商工会連合会乾敏一専務理事から、「今後の小規模企業関連施策と平成二十八年年度補正予算及び平成二十九年年度予算について」と題し、昨今の中央情勢を踏まえながら説明が行われ、特に、商工会の今後の目指すべき方向性について「経営発達支援計画策定を機に、商工会内で目標を共有し、地域のヒト・モノ・カネ・情報の結節点となる『地域総合コーディネート』としての機能を発揮し、個社支援の充実を図るとともに、地方創生の主役として、儲かる地域を実現し存在感を発揮してほしい。」と訴えた。

また、「職場健康づくり宣言」について、全国健康保険協会宮城支部高橋祥允支部長から説明が行われ、事業への理解と協力の要請が行われた。



挨拶をする佐藤会長

その後、全国商工会連合会乾敏一専務理事から、「今後の小規模企業関連施策と平成二十八年年度補正予算及び平成二十九年年度予算について」と題し、昨今の中央情勢を踏まえながら説明が行われ、特に、商工会の今後の目指すべき方向性について「経営発達支援計画策定を機に、商工会内で目標を共有し、地域のヒト・モノ・カネ・情報の結節点となる『地域総合コーディネート』としての機能を発揮し、個社支援の充実を図るとともに、地方創生の主役として、儲かる地域を実現し存在感を発揮してほしい。」と訴えた。

出席者からは、「地域の現状は厳しいが、

アドバイスを励みに頑張りたい」などと、積極的な意見が出され、有意義なセミナーとなった。

セミナー終了後の商工会長会議では、「役員

の定年制」について審議が行われ、組織運営活性化委員会での審議結果を

基に審議を進めることを全会一致で承認し、今後、導入方法等について同委員会にて継続審議していくこととした。

また、小規模企業支援関連事業のうち、①小規模事業者持続化補助

金、②経営発達支援計画、③よろず支援拠点事業の三事業について国の予算及び今後のスケジュール等についての説明が行われた。

また、小規模企業支援関連事業のうち、①小規模事業者持続化補助



会長セミナーの様子

### 栄えある受賞 おめでとうございます



高橋 正典氏  
(女川町商工会 会長)

### 平成二十八年年度 文化の日表彰

この度、商工会関係で次の方が産業功勞として受賞されることとなりました。晴れの榮譽に輝かれたことをお祝い申し上げます。

## 宮城県（地域別）最低賃金 が改定されました。

地域別最低賃金	時間額	効力発生日
宮城県最低賃金	<b>748円</b>	平成28年10月5日

年齢に関係なく、パートや学生アルバイトなどを含め、すべての労働者に適用されます。賃金が最低賃金以上になっているか、確認してみましょう。

**必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も**

最低賃金に関するお問い合わせは、宮城労働局または最寄りの労働基準監督署へ



仙台駅での交流物産展の様相

本会と愛知県商工会連合会では、各地の特色ある商品が互いの地域間での交流を通じて、既存商品のブラッシュアップや新商品の開発等、連携強化による新たな販路拡大に繋げることを目的に、仙台と名古屋各々を会場に交流物産展を開催した。

仙台での開催は、去る十月四日(火)～六日(木)の三日間、JR仙台駅二階ステンドグラス前にて「商工会あいち・みやぎ交流物産展in仙台」と銘打ち、愛知県の十六事業所と宮城県の十五事業所が出席し開催された。

会場では愛知県産品の「どてたま」や「きしめん」など、普段なかなか手に入らない愛知県の加工食品に興味を示す方が多く、中でも「あさりせんべい」は、県営名古屋空港に開設している愛知県のアンテナショップ『まるっと!あいち』で一番の売れ筋商品というところもあり、多くのお客様が購入されていた。

また、宮城のブースでは、女川・南三陸産のワカメやホヤ、牡蠣などの水産加工品をはじめ、食材王国みやぎを代表する商品が並び、中でも今が旬である「いちじく」の果実や甘露煮の加工品が人気を集めていた。

愛知県商工会連合会の近藤課長補佐は、「予想していたよりも名古屋名物『どて煮』の売れ行きが良いなど、東京などの首都圏とは違ったお客様の反応が見られ、仙台での販売を通じて分かったことが多く、今後の販路開拓支援に大変勉強になった」と述べていた。

名古屋での開催は、十一月六日(日)～八日(火)に名古屋市金山総合駅構内を会場に開催し、宮城県からは七事業者が出席予定となっている。

**JR仙台駅にて愛知・宮城の物産品をPR販売!**  
～商工会あいち・みやぎ交流物産展in仙台～



宮城のブースも大いに賑わった

**若者・女性経営者等を対象とした資質向上セミナーを開催**  
～若者・女性経営者等研修事業～

本会では、全国連からの受託事業として、若者・女性経営者等研修事業を実施している。十月には、若手経営者・後継者を対象として、建設業(十月二十日開催)、サービス業(同二十四日開催)、商業(同二十五日開催)の三つの業種に分けて、経営革新をテーマとした「若者経営者等資質向上セミナー」を仙台にて開催し、それぞれ約三十名が受講した。

講師には、各業種に精通した中小企業診断士を招き、同業者の成功事例等を交えて経営革新の必要性等について講義を行い、参加者からは「業種に特化した内容で、同業者の取組みが直ぐに自社に当てはめることができ、イメージしやすかった」等の声が聞かれた。それぞれの研修会終了後は、県商工会青年部連合会主催の「業種別商工会青年部員交流懇談会」も開催され、セミナーに参加した受講者は経営革新への取り組み等の情報や意見を交換し合い、互いの連携を深めた。

なお、十一月には女性経営者等を対象に、事業承継をテーマとした「女性経営者等資質向上セミナー」を左記のとおり開催することとなっている。

- 女性経営者等資質向上セミナー**
- 【仙南会場】  
日時：十一月二十四日(木)  
午後二時  
場所：蔵王町ふるさと文化会館
  - 【中央会場】  
日時：十一月二十五日(金)  
午前十時  
場所：多賀城・七ヶ浜商工会館
  - 【大崎会場】  
日時：十一月二十五日(金)  
午後三時  
場所：大崎商工会館
  - 【三陸会場】  
日時：十一月二十九日(火)  
午後二時  
場所：東松島市コミュニティセンター
  - 【栗原・登米会場】  
日時：十一月三十日(水)  
午後二時  
場所：登米中央商工会館

平成28年度補正予算

# 小規模事業者持続化補助金

10月末以降  
募集  
開始!

小規模事業者が、商工会と一体となって経営計画に基づき実施する  
販路開拓に取り組む費用の2/3を助成します。



### 1. 事業概要

持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓(創意工夫による売り方やデザイン改変等)などの取り組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。

### 2. 補助対象となり得る取組事例

- ①販促用チラシの作成、配布 ②商談会、見本市への出展 ③店舗改装
- ④商品パッケージ(包装)の改良 ⑤ネット販売システムの構築 ⑥新商品の開発など

### 3. 募集期間

平成28年10月末以降に募集が開始されます。  
詳しい募集期間は最寄りの商工会にお問い合わせください。

#### ※ご注意

本事業の申請に際しては、最寄りの商工会による「事業支援計画書」が必要となりますので、締切までに十分な余裕を持って、最寄りの商工会に早めにお越しください。

### ■補助率等

補助率	補助対象経費の2/3以内
補助上限額	50万円 ※賞上げ、雇用対策、海外展開、買物弱者対策に取り組む場合：100万円 ※複数の事業者が連携して取り組む共同事業の場合：100万円～500万円 (連携小規模事業者数による)

### ■小規模事業者の定義…従業員規模

卸売業・小売業 サービス業(宿泊業・娯楽業以外)	5人以下
製造業その他 サービス業のうち宿泊業・娯楽業	20人以下

お問合せ・お申込み

## 最寄りの商工会へ

【持続化補助金地方事務局】

宮城県商工会連合会 TEL:022-225-8751

宮城 持続化

検索

<http://www.miyagi-fsci.or.jp/>

## 小規模事業者持続化補助金活用レポート ⑦



ギフト化を図った「乾しあわび」

### 中国人観光客をターゲットに 「乾しあわび」のギフト化を図る (株)マルヤ五洋水産(南三陸商工会)

#### ◆取り組みをきっかけ

当社はあわびを専門に取り扱う水産加工業を営んでおり、平成二十三年の東日本大震災にて施設、設備の大部分が被災してしまいました。

復旧支援施策を活用して何とか事業再建は果たしましたが、失った販路と風評被害は大きく再建の障害となっており、このままでは事業継続が困難と思われたことから、震災前より検討していた贈答用「乾しあわび」のパッケージ開発に取り組みました。

#### ◆具体的な取り組み内容

本補助金を活用し

て、商工会並びに専門家の支援を頂き、高級品のイメージを意識した中国人向けのパッケージ試作を行いました。

中国人観光客は近年増加しており、日本国内にて爆買いを行っているケースが多々あることや、華僑文化において生であわびを食べるよりも、「乾しあわび」の美味しい食べ方を知っており、日本人よりも「乾しあわび」の価値を知っていることから、来日中国人をターゲットにしたギフト商品の開発を行いました。特に、贈答品文化は中国人の独特の慣習にあわせたモノが必要であると想定し、日本の高級感と中国で好む色を組み合わせました。

#### ◆実施後の取り組み

本事業の取り組み後、高級品食材を取り扱う販売店より引き合いがあり、首都圏を中心に百個の販売実績ができました。

現在は一番多く購入が見込める時期である春景節(二月(三月)において取り扱いたいという声が多くあることから、この時期に向けた販促活

### 経営指導員の声

鮮度の高いあわびを独自の技術で「乾しあわび」として加工することに成功し、輸出を展開してきましたが、震災前と震災後では取引先が大きく変わり、売上を伸ばすためには新たな手法が必要であることから、本事業に取り組みました。販売先を変えた今回の取り組みは、常に経営力の向上を意識した行動を取っている結果であります。今後も事業の進捗を確認しながら、引き続き支援していきます。

宮城県商工会連合会 サポートイングリダー 鈴木 徹

### 【企業概要】

事業者名：株式会社マルヤ五洋水産

代表者：高橋 幸司

所在地：〒986-0712

本吉郡南三陸町志津川

北ノ又7番

TEL：0226-46-4237

FAX：0226-46-4998

動に取り組んでおります。新商品が完成した事で取引先も増え、今後は新たな事業の柱として育てて既存顧客以外の市場にも積極的に進出し、経営の安定化を図っていきたく思っております



自社で開発した「減圧乾燥器」

当社は、平成十三年八月に遠刈田温泉街に宮城県唯一の台湾茶専門店「台湾喫茶 慢瑤茶」を開業。台湾の農家から直接輸入した無農薬台湾茶のほか、蔵王町の野菜・果物を使用したスイーツ・料理を提供しております。特に蔵王町産果物を当社で加工したドライフルーツと茶葉をミックスしたフルーツティーは、観光客や地元消費者から大変好評を得ております。

今回、当社の主力商品であるドライフルーツに含まれるドライフルーツの品質を改善することで商品力の向上を図り、また、加工しても美味しい蔵王町の果物を知っていたことにより、蔵王町の資源である果物のPRに繋げようと新商品の開発に至りました。

品質改善のポイントは、ドライフルーツの製造過程にあると考え、既存の「熱風乾燥」に代わる新たな乾燥方法を模索しました。

解決のヒントとなったのは前職の半導体メーカーで培った知識・技術であり、その技術を基に「減圧乾燥」を取入れた設備を自社で開発し、ドライフルーツ製造に取組むこととしました。

新たな取組みを実施するにあたり課題となつたのは「資金手当」であり、この課題を解決するために、平成二十七年年度補正「ものづくり・商

**ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金認定企業**

**減圧乾燥設備を開発し**

**ドライフルーツの品質を改善**

**台湾喫茶 慢瑤茶 (蔵王町商工会)**

**【企業概要】**

事業者名：台湾喫茶 慢瑤茶  
 代表者：佐藤 雅宣  
 所在地：〒989-0913 刈田郡蔵王町遠刈田温泉本町 14  
 TEL：0224-34-4218  
 URL：http://massade7.wixsite.com/manyaocha  
 Facebook：https://ja-jp.facebook.com/ManYaoCha/

業・サービス新展開支援補助金」に申請することとしました。申請に向けた事業計画づくりにおいては、自身の思いや自社の現状把握に始まり、本補助金を如何に事業に活かしていくのか等について、蔵王町商工会・県連合会・よろず支援拠点からのアドバイスをもとに整理を行いながら申請書を作成し、採択となりました。

八月には試作機が完成したものの、稼働試験で新たな課題が発見されたことから、現在は、改良点の整理を行いながら減圧乾燥設備の完成を目指しております。

**「平成28年度第2次補正予算」が10月11日に成立されました!!**

経済対策を盛り込んだ平成28年度第2次補正予算が10月11日の参院本会議で可決、成立しました。経済産業省関連総額5,880億円のうち中小企業関連予算は2,672億円で、その内、小規模事業者持続化補助金等の小規模企業対策予算は、平成27年度補正予算より70億円増の170億円が計上されております。

——— 主な中小企業・小規模企業対策関連予算 ———

**【地域未来投資促進事業】 1,001.3億円**  
 中小企業・小規模事業者の生産性向上のため、革新的ものづくり・サービスの開発に加え、IT化による業務効率化や、TPPも見据えた海外販路開拓などの新たな需要の創出も一体的に支援。尚、賃上げ・雇用対策に取り組む事業者や、最低賃金引き上げの影響を受ける事業者の取組は重点的に支援。

- 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援事業 (ものづくり補助金)**
  - ・中小企業者等が第四次産業革命に向けて、IoT・ビックデータ・AI・ロボットを活用する革新的ものづくり・商業・サービス開発を支援 (補助上限額3,000万円、補助率2/3)
  - ・中小企業者等のうち経営力向上に資する革新的ものづくり・商業・サービス開発を支援 (補助上限1,000万円・500万円、補助率2/3)
- 小規模事業者広域型販路開拓支援パッケージ事業**  
 小規模事業者等に、アンテナショップなどの販路開拓等を図る場を提供する取組みを支援。

**【小規模事業者販路開拓支援事業】 120.0億円**

- 小規模事業者持続化補助金**  
 小規模事業者のビジネスプランに基づく経営を推進するため、商工会・商工会議所と一体となって経営計画を作成し、販路開拓に取り組む費用を支援。従業員の処遇改善(賃上げ)を実施する事業者について補助限度額を増額するとともに、ITを活用した取組みを実施する事業者を重点的に支援。  
 (補助上限額50万円、補助率2/3) ※賃上げ、雇用対策、海外展開、買物弱者対策は補助上限額100万円

# 一億総活躍社会の実現に向けて 地方創生への取り組みを開始!

柴田町商工会

今年度、柴田町が地方創生加速化交付金事業（七千八百四十六万円）と地方創生推進交付金事業（三千五百九十九万円）を国から採択を受けたことから、柴田町商工会では、これら交付金で創設された補助事業を活用し、地方創生に向けた取り組みをスタートさせている。

まず、「地方創生加速化補助事業」として、家主と店舗を借りている事業主の間に家守（やもり）と呼ばれる店舗改装のアドバイザーを入れ、



桜まつりで開催した「うまいものマルシェ」

店舗の価値を高める改装等について学ぶ「リノベーションスクール」を開催している（年十回予定）。  
また、桜まつり等の機会に地域の物産等を広く紹介するための「うまいものマルシェ」の開設と、柴田の名産品であ

## 地域資源を活用し 新たな郷土料理を創作!

「食」おらほの「一番グランプリ」  
本吉唐桑商工会

今年で三回目の開催となる料理コンテスト「食」おらほの一番グランプリは、現在、二次審査を通過した入選者により、グランプリ（優勝賞金三万円）の獲得を狙い、最終審査に向けた最終調整に入っていると聞いています。

このイベントは、新たな郷土料理の創作を図ることを目的に、地元の豊かな食材を活用した一般住民参加型の料理

る柚子や桜等を活用して商品化を目指す「ふるさと商品開発事業」も手掛けています。  
更に「地方創生推進補助事業」として、まちゼミの発祥の地である愛知県岡崎市の松井洋一氏を講師に計三回の講習を開催するとともに、二月には実際に「まちゼミ」も開催する計画にある。

柴田名産の鉢花の「ブランド化事業」や、十二月に開催する「しばたファンタジーイルミネーション2016」と併せて開催する「花マルシェ」等のイベント事業も実施することになっている。

また、当商工会の情報委員会が運営して柴田の美味しいものを紹介する「うまいものグルメ紹介サイト」の開設、

「誰でもが参加できるイベント」

コンテストで、菅原商工会長自らが震災からの復興として



二次審査の様様

審査は、レシピと写真による一次審査、次に審査員の試食による二次審査、そして最終審査は、本吉地区で行われている一大イベント「本吉産業まつり」会場での一般来場者百名の試食による投票でグランプリを決定しております。

最終審査では、試食で使用した割箸の投票により決着がつくこととなりますが、さす



昨年の一般来場者による最終審査

がに最終審査ともなると一般審査員も甲乙の判定が難しく、一本差という僅差でグランプリ・準グランプリが決まった年もあるなど、毎回地域の素材を上手に活かした素晴らしい料理が出品されております。

三回目となる今年度は、より内容の充実を図るため、作品テーマを「スープ」に限定し募集を行った結果、二十六作品の応募があり、十月二日の二次審査で五作品に絞られました。

最終審査の舞台となる十一月六日開催の「本吉産業まつり」では、暖かいスープを求め、作品ブースに長蛇の列が出来るのが非常に楽しみみです。

# あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の 商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

12万人以上の皆様に  
ご利用いただいています

「けが」の補償  
傷害プラン

プラス

「個人賠償」の  
補償

「傷害プラン」に個人賠償責任保険が付いて、  
さらに **パワーアップ!!**



※「けが」の補償に「個人賠償」の補償が自動付帯されます。(傷害ライト・シニア傷害プランは除く)  
※個人賠償責任保険(総合生活保険(個人賠償責任補償))は東京海上日動火災保険株式会社が補償する「保険」です。

## 日常生活の事故やトラブルで賠償責任が生じたとき **最高1億円まで補償**

示談交渉も  
おまかせ!!

●例えば、このような事故が起きたとき

同居のご家族も  
補償の対象!!



自転車を運転中、あやまって他人と接触してケガをさせてしまった!



飼い犬が散歩中に他人に踏みつきケガをさせてしまった!



買物中、あやまって商品を落として割ってしまった!



ゴルフのプレー中、打ったボールが他人に直撃し、あやまってケガをさせてしまった!



# 宮城県多重債務無料相談会を開催!

多重債務問題に対応するため、事業者の方の無料相談会を12月に開催します。

### ●相談会日程

開催日	会場	定員	相談会の内容
12月1日(木)	県気仙沼合同庁舎	4名	■相談会は、午前9時30分から午後4時30分まで ■相談時間は、1人あたり原則1時間30分とします。 ■当日は、宮城県よろず支援拠点のコーディネーター等からアドバイスを受けられます。
12月2日(金)	県大河原合同庁舎	4名	
12月3日(土)	県庁	4名	
12月4日(日)	県庁	4名	

### ●申込方法 (事前予約制)

東北財務局金融監督第三課 電話 022-266-5703

予約受付時間 午前9時～正午、午後1時～午後5時 (受付期間11月7日(月)～25日(金))

●主催 宮城県多重債務問題対策会議

●後援 宮城県市長会・宮城県町村会

●協力 宮城県商工会連合会・仙台商工会議所

事業主の皆様、労働保険の加入手続はお済みですか?

## ～ 11月は労働保険適用促進強化期間です～

労働者(アルバイトを含む)を1人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。(農林水産の一部の事業は除きます。)

労働保険の加入手続を行っていない事業主の方は、速やかに、最寄りの商工会にご相談ください。

# IMPULSE

## 青年部 コーナー

**及川善弥君(南三陸)**  
**最優秀受賞 全国大会へ**  
 —東北六県・北海道商工会青年部員主張大会—

第二十三回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに商工会青年部主張発表大会東北・北海道ブロック大会が八月二十五日、仙台市「江陽グランドホテル」を会場に、東北・北海道の各地から、本会青年部員百十二名を含む約四百五十名の参加の下盛大に開催された。

本研修会は、商工会青年部員を対象に、部員相互の交流を通し、人的ネットワークづくりと部員の資質向上を図る事を目的としており、二十三日目を迎えた今回は、本県青連が主管となつて開催した。初めに主張発表大会が行われ、東北六県・北海道の各代表者七名が、青年部活動の中で自分自身が気付かされたことや地域振興・まちづくりなど将来を担うのは自分達であるなど熱弁が振られた。



交流研修会の様子

れる全国大会に東北六県・北海道の代表として出場することとなった。

審査の結果、本県代表の及川善弥君(南三陸商工会青年部)が見事最優秀賞に選ばれ、十一月八日、福島県で開催される全国大会に東北六県・北海道の代表として出場することとなった。

次いで、全国商工会青年部連合会相談役も務めている(一社) ビズ コミュニケーション理事長の宮本博史氏を講師に迎え「コミュニケーションビジネスについて」と題し講演が行われ、疲弊していた地元商店街を宮本氏が中心となつてコミュニケーションビジネスの手法を用いて復活させ、年間数十万の観光客が来るようになった取組事例を紹介し、若者が必死になつてしなければならぬ事や考え方について熱く語られた。



## 女性部 コーナー

**「愛する宮城」の推進者として、  
 未来に向けて新たな飛躍を誓う!**  
 —県女性連創立五十周年記念事業—



開会の挨拶をする菊地会長

宮城県商工会女性部連合会では、昭和四十一年の創立から、今年度で五十周年を迎えたことを記念し、去る九月二十八日(水)にホテルメトロポリタン仙台を会場に、県下商工会女性部員約百九十名参加のもと創立五十周年記念事業を開催した。

第一部「記念式典」では、功労者表彰として鈴木仁和子前県女性連会長(河南桃生)と、各商工会女性部長から推薦された女性部活動に顕著な功績のあった四十九名の部員に対し、県女性連菊池秀子会長より表彰状が授与された。

続いて県女性連相澤きよの副会長が、未来に向けた女性部活動宣言・意見表明を行い「この五十年を新たな出発点として、新たな飛躍と『愛する宮城』の明日を築く推進者として今後とも行動して参ります」と力強く宣言した。



熱弁をふるうカリスマアテンダントの齋藤講師

第二部の昼食を兼ねた「懇談会」の後、第三部では、(株)日本レストランエンタプライズアドバイザー齋藤泉氏を講師に招き、「またあなたから買いたい! カリスマ新幹線アテンダントの一瞬で心をつかむ技術」をテーマとした記念講演会を開催。講師からは、毎日の仕事の変化に対応するために心掛けていることを、実際にあったお客様とのやり取りを例に挙げてお話しいた

—§ 宮城の中小企業を応援します §—

# 新発売!! 休業対応応援共済 業界初!!

火災・台風などによる事故はもちろん、**地震・津波・噴火** などにより建物が損害を受け休業した場合に補償する共済で、事業活動を手厚くサポートします!!

**火災共済 自動車共済 その他共済 損保代理店 先ずはお見積りを!!**

お問い合わせ・お申込みは **お近くの商工会へ** あるいは直接 **宮城県火災共済協同組合へ**  
 TEL. (022) 263-1265 FAX (022) 267-2878

